

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」白山松任校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			お子様の特性やその日の調子によって1階と2階の支援室を分けている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	1階・2階の校舎のため、外階段での行き来となっている。天候が悪いと滑りやすいため、児童の移動の際は指導員と一緒に行うなど工夫をしている。1階2階の伝達方法がインターフォン（通話はできない）で行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年、ホームページ内で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、第三者評価はしていないが、上長の巡回や内部監査等で事業所の書類を確認してもらっている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			連携機関である発達支援研究所の研修や事例検討会、行政主催の講演会等に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			会社で標準化されているアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			常にお子様の様子や教材に対する反応を見ながら工夫していく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日と休日でお子様のお気分や体力等が変化するため、その時の様子を拝見し臨機応変に活動を設定している。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		前回支援の様子や児童の様子について確認を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援準備時や終礼時に、児童の気になることや保護者様から頂いた意見などを共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		会社内のルールに則って記録を記載・保管している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		少なくとも6ヶ月に1回のモニタリングの機会を設けている。お子様の状況によって、モニタリングの時期を早めている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発管が中心となって参加している。場合によっては指導員にも参加を頂いている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		必要に応じて情報共有を行っている。授業参観や学校公開週間の際も各学校に連絡を取り、情報の伝達を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在受け入れはないが、今後受け入れとなった場合は、連携をしていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	必要に応じて行っている。相談員からの情報をお聞きし職員に周知を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	例がまだない。今後そのようなことがあった場合は、相談員や各種関係機関も含めて連携を図っていきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		発達相談センターとの連携を組み、必要な情報をお聞きしたり、講演会の案内があった際は参加するようにしている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	児童館などの交流は少ないが、きらりひろばで児童の兄弟姉妹児が参加するケースはあり、交流を図っている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		市のこども部会へ参加をしており、意見交換を行っている。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援後に必ず当日の支援の様子を確認し、必要に応じて学校や家庭での様子をお聞きして情報共有を行っている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧にお伝えしている。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様のご希望を受けて相談を受けたり、「きらり」の方から相談が必要と感じた保護者様にはお声をかけて相談をしている。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			今年度はきらりカフェの開催を見送った。次年度より年1回以上の開催およびアンケートを募り、テーマに沿ったきらりカフェを行っていき保護者様のお困り事、保護者様同士で共有する場を設けて、交流を図る。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があれば職員全員で解決に向けた話し合いを行い、真摯に対応していく。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に2回以上ブログを投稿し「きらり」での活動な事業内容を紹介している。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報には鍵付きの書庫で厳重に保管している。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			直接フィードバックが難しい場合は、電話や報告書等で対応している。児童が知りたくない内容については離れた場所でのフィードバックや後日面談を行い対応することがある。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	パンフレットや校舎のチラシを地域の店舗に置かせて頂いている。今年度に開かれたきらりcaféでは隣接するcaféを利用させて頂いた。
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月避難・防災訓練を行っている。年に2回は児童・保護者参加の避難・防災訓練もしている。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			月に1回虐待防止・身体拘束防止の研修を行っている。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に必ず保護者様にお伝えしている。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食事の提供は行っていないが、給食やお菓子を食べて来校した際に、アレルギー反応を起こす可能性もあるため、初回面接の際にお聞きしている。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			職員間で共有し、事故への発展がないように周知している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」白山松任校 保護者等数(児童数)：54名 回収数：37 割合：68.5%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33	4		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	34	3		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちに寄り添いながらも主導権は先生が持って対応頂いている。 →お子様に寄り添い支援することで信頼関係を築き、様々なやり取りに繋がっています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	14	4	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が遠く、どうしても路上に停車せざるを得ない時がある。 ・外階段が濡れていると歩くのが少し慎重になります。 →駐車場や階段の件、申し訳ございません。駐車場に関しましては、スペースが1台分しかございませんので、ご了承いただければと思います。雨の日の階段の昇降は出来るだけ職員も同伴させて頂きます。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	36	1		<ul style="list-style-type: none"> ・プリント内容がもう少しレベルが上のモノでもいいのかと思いました。 →ご意見ありがとうございます。また状況確認のためお話をさせて頂きたいと思います。 ・長期休みの宿題で出来なかったところを支援に取り入れてもらい、克服できるように取り組んでいると思う。 →お子様自身、躓いて自信のない部分を少しでも成功体験としてきらりで経験して頂きたいと思います。
	⑤	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	36	1		<ul style="list-style-type: none"> ・色々な活動をして頂いています。 ・本人のやりたい事だけではなく、少しずつ学習面にも力を入れられると良い。 →お子様との関わりの中での押し引きの部分もソーシャルスキルトレーニングとなるので、コミュニケーションを通じて切り替えが出来るよう支援していきます。

	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	20	7	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援がメインなので重視していない。 ・夏の学習イベントに参加した際、皆が勉強していると、その影響を受けて真面目に勉強していたので、周りからの影響で出来ることもあるのかなと感じた。 →集団だからこそそのメリットもあります。障害のない他児との交流は少ないですが、きらりのイベントの中で、ご利用様の兄弟（姉妹）と関わることも可能です。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	35	2		<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容を詳しく教えて頂いています。 →きりりでは情報共有を大切にしています。利用者負担についても契約時に丁寧にお伝えさせて頂いています。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	37			<ul style="list-style-type: none"> ・毎回活動の後にお話する時間がある。 →お子様の成長過程には、現状の課題や状況を共通理解することが大切です。今後とも気になる点がございましたらお気軽にご相談ください。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	32	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・時々、何がどのくらい成長したか、出来るようになったか、今の課題は何か等の話し合いが出来ると良い。 →今後の改善点として参考にさせて頂き、定期的な面談をさせて頂きたいと思えます。 ・毎回その日の様子を聞いているので OK
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	19	7	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に感じていない。 →今年度はきりりカフェの開催を見送りましたが、年1回以上の開催を行い、交流の場を知って頂ける機会を持ちたいと思えます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	30	7		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	34	3		<ul style="list-style-type: none"> ・工夫して子どもと意思の疎通をして頂いています。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	27	10		<ul style="list-style-type: none"> ・行事の様子などをホームページで見ることが出来るので、発信できていると思えます。 →ホームページやブログをご覧頂き、ありがとうございます。今後もお子様の支援の様子などを投稿させて頂きます。

						・LINE で欠席の連絡が出来ると便利。他の事業所は LINE で連絡している。 →今後 LINE の検討も含め対応させて頂きたいと思います。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	35	2		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	24	11	2	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25	12		・最近はその場に居合わせていないが、出来ていると思う。 →毎月防災訓練を行っています。年 2 回は児童参加型の訓練もあります。機会がありましたらご協力・ご参加をお願い致します。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	35	2		・先生方が優しく、褒めて下さるのが嬉しく楽しみにしています。 ・学校で疲れても「行きたくない」となっていないので、学校では言葉が出ない分、人と話せる場となっているのかなと思う。 →楽しんで頂ける、きらりに来たらホッとするなどお子様にとって安心できる場所であってほしいと思っております。今後とも楽しくご利用頂けるように精進してまいります。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	35	2		・家で教えようとしても出来ないこと、やらないことも出来るようになったりするので、満足しています。 ・家で過ごす延長の場になるだけでなく、親からの言葉は聞きたくない年頃なので、外の先生からの言葉で色んなことに気付ける場になると良いと思う。 →支援の質を考えながら、お子様の将来を見通した支援の提供を心掛けていきます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。